



【読書】キャラクター「おっほん」

# 札幌市立新札幌わかば小学校

## 読書活動の取組

### 読書センターとしての機能

#### ■図書委員の声で広がる 本の世界

給食時間、図書委員の子どもたちが校内放送を通して「おすすめの本」の紹介を行いました。

子どもたちは、数ある本の中から自分が実際に読んで心に残った一冊を選び、あらすじや魅力、おすすめしたい理由を考え、自分の言葉で伝えました。

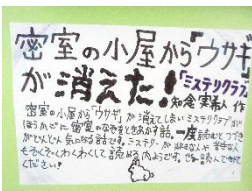
放送を見た子どもたちからは「紹介されていた本を探して読んでみたい」「図書室に行くのが楽しみになった」といった声も聞かれ、読書への関心が高まっている様子が伺えました。



#### ■POPでつなぐ 本との出会い

図書室は、子どもたちが読書に親しみ、本の世界を広げる読書センターとして活用されています。

4年生は国語の授業で、本の魅力を伝えるPOP作りに取り組みました。言葉の選び方や表現を工夫しながら一人一人がおすすめしたい本について考えました。完成したPOPは図書室前に掲示され、友達のおすすめから新しい本と出会うきっかけになっています。



### 学習センターとしての機能

#### ■「もっと知りたい」を支える 図書室

本に親しみながら学びを深められる場所として、図書室は、大切な役割を果たしています。

カウンター横には、新刊コーナーや教科書に掲載されている本、関連図書のコーナーを設置し、授業での学びを深めたり、調べ学習に活用したりできる環境を整えています。子どもたちの「知りたい」「もっと学びたい」という気持ちを広げる大切な学びの場です。



### 情報センターとしての機能

#### ■地域の図書室で広がる 新しい学び

本校では、授業の一環として国語や生活科、総合的な学習などの時間に、校舎4階の厚別南地区センター図書室を活用しています。

地域の図書室ならではの約38,000冊という幅広い蔵書に触れながら、自分の興味に合った本を探したり、必要な情報を見つけたりと、意欲的に学習に取り組んでいます。

